

組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	文化芸術活動(鑑賞を含む)を行う市民の割合 ・文化的な環境への満足度 ・観光入込客数 ・障がい者理由として差別・暮らしにくさを感じたり、いやな思いをしたことがない障がい者の割合	作成日	R5.5.19
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名 (準部・課・機関名)	文化政策課	評価日	

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)			
1	市民が文化芸術に気軽に鑑賞・体験・創作・発表できる機会を充実させます。	政策2-1-①	新潟市美術展などの公募事業の応募者数	975人 (令和4年度972人)		新潟市美術展開催事業 にいがた市民文学発刊事業	美術を愛好する市民の創作作品を発表する場として「新潟市美術展」を開催します。また、文芸活動の振興を図り、創作意欲を高めるため、文芸作品を募集・審査し、「にいがた市民文学」を発刊します。		
2	次代を担う子どもたちの豊かな感性や創造力を育むため、文化芸術を鑑賞・体験する機会を充実させます。	政策2-2-①	オーケストラはキミのともだち			子どものための芸術文化体験事業	日頃、文化芸術に接する機会の少ない子どもたちに鑑賞・体験機会を提供するため、プロオーケストラによる演奏会などを開催するほか、小学校へのアウトリーチを実施します。		
			参加者数	2520人 (R4度2,376人)					
			・アウトリーチ実施校数	45校 (R4度20校)					
			参加者の文化・歴史関連の活動回数が増加した人数の割合	50%		子ども向け文化プログラム体験事業	本市の文化や歴史などへの子どもたちの興味・関心を醸成するため、小学校高学年の児童を対象に、まちなかの文化・歴史に着目したツアー形式の体験プログラムを実施します。		
3	みなとまち文化や踊り文化、マンガ・アニメ文化、鉄道文化などの人を引きつける特色のある文化をさらに磨き上げ、観光や産業、まちづくり分野などの振興に役立てます。	政策2-4-①	マンガ・アニメを活用したまちづくり構想第3期の策定	策定		マンガ・アニメを活用したまちづくり構想第3期策定事業	マンガ・アニメを文化施策として進めてきた本市の取り組みについて、業界の動向や関係者のニーズを踏まえ、マンガ・アニメの「楽しさ」だけでなく「教育」や「産業」の観点を重視した「マンガ・アニメを活用したまちづくり構想第3期」の策定をします。		
4	国際交流、福祉、教育などの分野と連携・協働し、相互理解や豊かな表現力が地域で育まれるよう、多様な価値観を包摂する文化芸術特性を幅広く活用していきます。	政策2-4-②	文化芸術による共生社会推進事業への障がい者施設等の参加件数	44件 (令和4年度43件)		文化芸術による共生社会推進事業	障がい者施設等と文化芸術団体の交流支援などを通じて、障がいのある人となし人との相互理解を深める環境づくりに取り組みます。		
5	本市の文化芸術振興の基本計画である「文化創造都市ビジョン」の計画期間が令和5年度に終了することから、近年の社会状況の変化や変動を踏まえた新たな計画を策定します。		新潟市文化創造都市ビジョンの策定	策定		文化創造都市ビジョンの策定	令和3年度から準備を進めてきた次期ビジョンについて、策定の総仕上げとして、市民や関係者など多くの方からのご意見を聞きながら丁寧に策定手続きを進めていきます。		
6	適正な事務の執行を確保するため、コンプライアンスの徹底、内部統制制度による事務ミスや不正の発生防止に努めます。	行財1-1-①	内部統制の整備上及び運用上の不備件数	0件 (令和4年度1件)		内部統制の推進	内部統制制度に基づき、PDCAサイクルを機能させ、事務の適性執行の有効性・実効性を高めていきます。		











# 組織目標管理シート

年度	令和5年度		(参考) 関連する総合計画における政策目標	・週1日以上スポーツをする市民の割合 ・スポーツ環境への満足度	作成日	R5.5.19
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名 (準部・課・機関名)	スポーツ振興課		評価日	

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)			
1	スポーツと地域の関わり、スポーツの多様化や少子化による影響など、取り巻く環境の変化に対応しながら、関係者と共にスポーツ環境の充実や指導者の育成など、ハード・ソフト両面から市民スポーツ活動を支えます。	政策3-1-②	市内のスポーツ施設利用者数(人)	2,720,000人		スポーツ施設管理運営委託費	指定管理制度により所管するスポーツ施設の管理運営を行い、各区所管課、指定管理者や関係機関と情報交換・連携しながらスポーツ施設の利用促進を図ります。		
2	新潟市の持つ魅力を活かした、国際・全国大会や合宿の誘致、イベントの開催により、スポーツを通じた交流を推進し、地域や経済の活性化につなげます。	政策3-3-①	主要スポーツイベント参加者数(新潟シティマラソン、新潟シティライド、新潟ヒルクライムのエントリー数)	13,750人 ・マラソン 12,400 ・シティライド 750 ・ヒルクライム 600		①新潟シティマラソンの開催 ②自転車活用事業	①フルマラソン、ファンランに加え、年齢や障がいの有無に関わらず参加できる種目、ユニバーサルランを実施することで、市民の健康保持・増進を図ります。また、萬代橋や榎谷小路などの市街地や新潟ならではの水辺を望めるコースとすることで、本市の魅力発信や交流人口の拡大を図ります。 ②新潟シティライド、新潟ヒルクライムを開催し、自転車を活用しながらスポーツの振興に寄与するとともに、市民の健康保持・増進、交流人口の拡大を図ります。		
3	将来の活躍が期待されるジュニア選手の育成・強化や、指導者の育成・資質向上、障がい者の競技スポーツの普及促進を図ります。	政策3-2-①	障がい者スポーツ全国大会等参加激励金支給件数	6件		障がい者スポーツ大会関連事業	新潟県とともに新潟県障害者スポーツ大会を開催するほか、全国大会への選手派遣を行うなど、障がい者スポーツの競技力の向上を図ります。		
4	地域経済の活性化につながる施策・事業を重視することで、市税収入の増加を図るとともに、広告収入やふるさと納税など歳入拡大に努め、安定した財政運営に必要な財源の確保を図ります。	行財2-1-①	①広告事業効果額 ②実施校	①1,200万円 ②64校(2,269人)		①ネーミングライツの推進 ②氷上スポーツ体験学習推進事業(ネーミングライツ活用事業)	①公共施設のネーミングライツの推進により歳入の継続(拡大)を図ります。 ②アイスアリーナで小学生等に氷上スポーツを体験してもらうことで氷上スポーツ愛好者の底辺拡大を目指すとともに、ネーミングライツの魅力向上を図ります。		